

菜の花苑だより

平成 25 年度

第 3 号

(H26.3.7)

史料

施設長

宮澤正樹



過ぎてしまえば
早いものであつと
いう間に一年が過
ぎようとしていま
す。おかげさまで職

員の日々の努力はもちろんでありますが、ご家族の面会時におけるマスクや消毒等のご協力により、感染症はもとより風邪などにより体調を崩される方も少なく平穏な生活を送ることができました。今、日本のあちこちでノロウイルスやインフルエンザの感染により体力のない高齢者や児童がその被害に見舞われております。感染症の蔓延や事故防止に今一度、認識を新たに気を引き締めなければと考えております。

さて、今年の冬は雪が少なく過ごしやす
いと思っておりましたが、二月に入り全国的な大雪、各地で大きな被害をもたらしました。それでも菜の花苑においては、例年に比べかなり少ない降雪でも暮らしやすく、またスキー場においてもシーズン初めから適度な降雪に恵まれ、前年に増して多くのスキーヤーを迎えることができたこと
ことで、明るい兆しが見え喜ばしいこと
であります。これからも適度な降雪で平穏
のうちに過ぎればと願っております。

三月に入りようやく長い冬も終わりの日
と春が近づいてまいりました。年度の終
わりということでは、一年の反省を踏まえ、
新年度に向けて計画を練らなければなりま
せんが、独りよがりの自己満足となってい
ないか、利用者の皆さん方に楽しんでた
だいているのか、さらには社会との交流が
十分にできているのか等々見直し、生活に

はりがもてるようにと考えております。

私も菜の花苑にお世話になって二年経ち
ました。職員も仕事とはいえ利用者の皆さ
んが安心して生活できるよう食事、排せつ、
入浴などの生活援助はもちろんのこと、転
倒しないか、ベッドからずり落ちないか、
三百六十五日二十四時間の見守りと常に気
が休まることなく緊張の連続、私は過去に
は毎日施設の前を通り承知はしておりますし
たが、施設の中に入って現場で接してみ
て、不規則な生活と福祉に対する理解と熱意が
なければと、頭が下がる思いです。これか
らの少子高齢化・核家族化の進行を考える
と施設の充実とそれに伴う多大な費用負担、
人材の確保・育成といった大きな課題も言
め難い時代を迎えるものと感じました。

日一日と日も長くなり春ももうすぐ、春
になったらお花見外出や園児との交流、季
節感に富んだ行事が待っております。

利用者の皆様が、安心して張りのある苑
生活が送れるよう職員一同努力して参りま
すので、今後とも、ご家族の皆様のご支援
ご協力をお願い申し上げます。



十一月から行われた行事をお伝えします

ふれあい広場（十一月十五日）

玉洲流吟詩舞会の皆様による詩舞・剣舞と、やまゆり会の皆様による大正琴の演奏がありました。踊りは華やかで見ごたえがあり、演奏は利用者様との合唱も交え、どちらも楽しくあっという間に時間が過ぎてしまいました。



やまゆり会の皆様による演奏

ものづくり（一月九日）

昔のことを思い出しながら、思い思いの形に団子を作りました。若かりし頃を懐かしみ話が弾みました。

ものづくりの飾り付けが終わった後、ダルマの目入れを行いました。昨年のダルマに感謝し、今年のダルマに願いを込めながら、一人ひとり筆で目入れをしました。

節分・豆まき（二月五日）

今年も赤鬼、青鬼と共に福の神が登場。鬼を追い出し、福の神が苑内に残りました。



青鬼が来たぞ～。それっ豆を投げろ！

餅つき（十二月十一日）

菜の花苑で採れたもち米を混ぜて行いました。食堂の真ん中に臼を置き、昔やった風景を懐かしみながら交互に杵を持って、おもちゃをついてくださいました。



これぞ、昔取った杵柄ですね（笑）

栄ふるさと太鼓（二月二十三日）

栄村の小・中学生で構成されている栄ふるさと太鼓の方々に勇壮な太鼓の演奏をしていただきました。昨年はインフルエンザの流行で残念ながら中止となってしまうしましたが、今年は無事来苑してただけました。小学一年生が四人入られたということで、一生懸命なかわいい姿に感激して涙を流される利用者様の姿もありました。心温まるひと時でした。



威勢のいい太鼓の音が響きました

これからの行事予定

三月

- 七日 ひなまつり喫茶
- 一四日 習字
- 十九日 誕生会
- 二十八日 お店の日

四月

- 十一日 習字
- 十六日 誕生会
- 十八日 喫茶
- 二十一日 理髪

五月

- 九日 習字
- 十六日 鯉のぼり喫茶
- 二十一日 誕生会、バイキング
- 三十日 お店の日

※七日・八日・十二日 お花見外出

六月

- 二・四日 しょっぴ湯
- 二日 理髪
- 十一日 屋外食
- 十三日 習字
- 十四日 家族会総会

- 十八日 誕生会、避難訓練
- 二十日 喫茶



午後のひととき

いろいろな過ごし方がありますが、左の写真は職員がハーモニカ演奏をしているところです。お近くの方々が集まり、知っている曲を口ずさんだりしていらっしやいました。

他にもカラオケを歌ったり、たみ物などの作業をやっていたりしております。今後とも楽しく過ごして頂けるように職員一同、工夫をしていきたいと考えております。

今日はどんな曲を演奏しているのかな？



平成25年度寄附受納

次のご寄附をいただきました。ありがとうございます。

野沢温泉村

匿名様

・現金 100,000円

野沢温泉村

黄色いハンカチ推進の会様

・パーソナルカラオケ1台

ご寄付いただいた
パーソナルカラオケ



体圧分散
マットレス

平成25年度事業

利用者の皆様が快適にお過ごしいただけるよう、次の事業を実施しました。

羽毛布団 60枚更新	1,034,250円
体圧分散マットレス 1枚購入	44,730円
包丁まな板殺菌庫 1台更新	202,650円

「菜の花苑だより」は菜の花苑ホームページからもご覧いただけます。

<http://www.hokusin.or.jp/02work/sisetu/nanohana/index.htm>

この他にもたくさんのご寄附やボランティアを行っていただいております。心より感謝申し上げます。

お知らせ

利用料引き落としについて

利用料につきまして、毎月二十日に引き落としをさせていただいております。期日までに口座残金の確認をお願いいたします。(二十日が休日の場合は、翌営業日となります。)

感染症予防について

全国的に年末からノロウイルスが流行しているため、ご面会においていただく皆様には、飲食物の持ち込みの禁止、マスク・手洗い(消毒)の徹底などをお願いいたします。

また二月上旬には、県内にインフルエンザ警報が発令され、ボランティア活動も風邪症状の有無を確認してから活動をお願い又はご遠慮いただいているところです。引き続き感染症防止のためご協力をお願いいたします。

「ご意見・ご要望」について

何かお気づきの事、気になる事など、どんなことでもご意見をお聞かせください。玄関にも用紙を備えてありますので、ご面会の時にもご記入いただけるとありがたいです。

今後とも良い施設となるよう、職員一同、努力して参ります。宜しく願っております。

編集後記

三月になりましたが、春は名ばかりで、菜の花苑の周りは一面雪景色です。それでも雪の山も小さくなり、春が近づいてくることが実感されます。

近隣ではまだまだインフルエンザの感染の話が聞かれます。引き続き利用者様の体調管理に気をつけて行きたいと思っております。ご家族の皆様もご自愛ください。